

令和3年

目黒区教育委員会

第3回定例会会議録

(令和3年1月19日開催)

第3回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和3年1月19日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	笹尾敦夫
	教育委員会委員	櫻井道雄
	教育委員会委員	松村真理子
	教育委員会委員	川嶋春奈

出席職員	教育次長	秋丸俊彦
	教育政策課長	檜本達司
	学校統合推進課長（八雲中央図書館長兼務）	
		関真徳
	学校ICT課長	今村茂範
	学校運営課長	濱下正樹
	学校施設計画課長	岡英雄
	教育指導課長	竹花仁志
	教育支援課長	細野博司
	統括指導主事	片山順也
	統括指導主事	石邑由紀子
	生涯学習課長	千葉富美子

書記		佐藤洋一
		森高健二郎

(議事日程)

日程第1	報告事項	区立学校におけるいじめの発生について
日程第2	報告事項	令和3年度教育行政運営方針(素案)について(案)
日程第3	報告事項	令和2年度小・中学校卒業式祝辞について
日程第4	報告事項	冬季休業期間明けの幼児・児童・生徒の欠席状況について
日程第5	報告事項	令和2年度文部科学大臣優秀教職員表彰について
日程第6	報告事項	区立学校における新型コロナウイルス感染者の発生について
日程第7	報告事項	区立幼児教育施設における新型コロナウイルス感染者の発生について
日程第8	報告事項	区立教育施設における新型コロナウイルス感染者の発生について
日程第9	報告事項	教育委員会名義の使用承認状況について
日程第10	報告事項	学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について

(午前9時30分開会)

○教育長 令和3年第3回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、川嶋委員です。それでは、日程第1を議題とします。

この案件は個人情報に関する案件ですので、目黒区教育委員会会議規則第11条第1項ただし書きの規定に基づき、会議を非公開にすることについて発議します。それでは、同条第2項の規定に基づき、討論を行うことなしに、直ちに可否を諮ります。

非公開とすることに賛成の委員の挙手を願います。

(全員挙手)

○教育長 それでは、日程第1については、非公開により審議することといたします。

(午前9時31分、非公開会議入る。)

(午前10時、非公開会議終わる。)

○教育長 ここから会議を公開といたします。次に日程第2を議題とします。

(日程第2 令和3年度教育行政運営方針(素案)について(案)(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はありませんか。

○委員 読み取りやすい内容になっており、特に令和3年度の方向性が具体的になっている点がよかったです。

例えば、資料1の9ページの「6 校舎の改築等の推進、学習・生活環境の改善」で、学校施設の設計標準の策定という具体的な取組が記載されている点がよかったです。

ただ、同じページの「7 区立中学校の適正規模の確保と適正配置の推進」では、統合対象校を2校程度とすると記載されていますが、これは決定されており、区民の方に周知されているのでしょうか。

また、同じ資料の10ページ以降では、文末で「必要がある」という表現が多用されており、それ以前のページで用いられている断定の表現と比べて後退している印象を受けました。可能であれば、全て断定の表現とした方がよいと思いました。

○説明員 1点目、南部・西部地区の統合対象校を2校程度とすることにつきましては、平成24年3月に改定した統合方針において示しておりますので、既に区民の方に周知されている内容となります。

○説明員 2点目の10ページの文言についてお答えします。「必要がある」という文言についてですけれども、右側の2年度の文をご覧くださいますと同様の表記となっており、これを引用しているものでして、この表記は課題認識として捉えた形で用いております。ただ、実際に事業として実施しているものもございますので、そういったものについては表記を改める形で検討してまいりたいと思いません。

○委員 資料2の一覧表の中の2ページ目に新規という項目があり、その中に「スクールゾーン規制時間前の交通安全体制の強化」と記載されていますが、これは以前から実施しているものではないのでしょうか。なぜ、ここに記載されているのか教えていただけますか。

○説明員 スクールゾーンにつきましては、資料1の23ページをご覧ください。番号で申しますと、一番下の3-3-3でございます。小学校15校につきましては午前5時間制を導入してございまして、現在もスクールゾーンを設定しておりますが、交通規制時間が登校時間の実態と合致していない状態であり、危険性があるため、その安全対策として行うものでございます。変更に当たりましては公安委員会の承認が必要でかなりの期間を要しますので、それまでの間の臨時的措置として新たに予算化したものでございます。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 令和2年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 本日は、卒業式の祝辞の文案についての協議の2回目でございます。

それでは、小学校、中学校それぞれの文案について再度委員の皆様

様のご意見をいただきたいと思います。

これまでと同様に、委員の皆様へ順番にご意見を伺う形で進めたいと思います。

それでは、よろしく願いいたします。

○委員

小学校の祝辞についてですが、前回のものと比べますと、読みやすくなりました。特に③の文章が改善した印象を受けました。

中学校の祝辞についてですが、⑤の「約一万回の実験と考察を繰り返す過酷な開発ですり減らした精神を」という文章が分かり辛い印象を受けました。

先週、他の委員が、ビデオメッセージによる読み上げを提案されましたが、読み上げる方については各学校に任せることにするのもよいと思いました。

もし代読される機会がなく、この紙だけでは、形式的なものを受け取られてしまう可能性があると思いますので、紙の配付だけとなるのであれば、区長に手書きの手紙を書いていただくと、人の温もりが感じられるのではないかと思います。

○委員

素晴らしい内容だと思いますが、さらによいものにするため、意見を述べさせていただきます。

まず、小学校の祝辞の10行目に「カプセルのみを地球に帰還させる」と記載されています。この表記は中学校の祝辞にもありますが、このカプセルのみという表現にどのような意味が込められているのか気になりました。

次に、中学校の祝辞についてですが、③の「これからの社会において、粘り強く試行錯誤を行い」と記載されていますが、この冒頭に「皆さんには」という文言を加えたほうがよいと思いました。

次に、④の「カプセルのみ」の表現についてですが、小学校の祝辞で述べた意見と同じことが気になりました。

次に、⑤の「微粒子を地球へ送ると燃え尽きてしまいましたが」の表現についてですが、送り届けた後で燃え尽きたという表現の方が読みやすいと思いました。

次に、14行目の「チームワークのよさを活かし、全ての工程を順調に進めていきました」と記載されていますが、「全ての工程を順調に進めていきました」という表現が、他の文章に比べると曖昧な印象を受けました。

最後に、⑥の「再び地球を離れ、新しい小惑星探査に旅立っています」と記載されていますが、この文章は、科学や理科への憧れを

引き立てる表現となっており、とても印象に残りました。

○委員 結論から言いますと、私は両方ともよくできていると思います。前回よりも字数が少なく、簡潔明瞭になっていると思います。

○委員 他の委員により指摘された点が改善されていると思いました。ただ、小学校の祝辞と中学校の祝辞を読み比べた結果、気になった点がありましたので、指摘させていただきます。

この祝辞の流れは、「はやぶさ2」が輝かしい業績を上げました。その業績を上げるに当たってはプロジェクトチームの人たちが大変な苦勞をして、粘り強くチームワークを発揮して、成功に導いたというものだと理解しています。

まず、中学校の祝辞の7行目ですが、小学校にはない表現で、「「はやぶさ2」の舞台裏を例に」という表記がありますが、舞台裏とは何を指しているのか気になりました。小学校の祝辞も中学校の祝辞もほぼ同じ流れで展開しますが、中学校の祝辞にだけ「舞台裏」という表記をするほどのことは掲載されていないと思ったので、この文言は削除してもよいと思いました。

次に、④のカプセルのみを地球へ帰還させるという部分ですが、小学校の祝辞では、その続きとしてサンプルリターンの技術が世界の国々から注目されている旨の表記がありますけれども、中学校の祝辞ではそれが省略されています。これは「はやぶさ2」の業績を称える部分なので、この表記を中学校の祝辞にも加えた方がよいと思いました。

次に、⑤の最初の文章の末尾では、「全ての工程を順調に進めていきました」と記載されており、工程が全て順調に進んでいる印象を受けるのですが、次の文章で「約1万回の実験と考察を繰り返す過酷な開発」という表記があるため、読み手は急展開している印象を受けてしまうのではないかと思います。

最後に、その次の行で「柔軟かつ最後まで諦めない信念」という表記があります。これは小学校の祝辞の15行目の「柔軟な思考と諦めない心」という部分を省略したものだと思うのですが、「柔軟かつ最後まで諦めない信念」という表記は、小学校のものと同じように、「柔軟な思考と諦めない心」と2つに分けた方がより分かりやすいと思いました。

○教育長 ありがとうございました。

委員の皆様からいただいたご意見を基に、小学校、中学校それぞれの文案に再度の修正を施しまして、次回最終案という形でお示

しをいたしますので、それについてさらにご意見をいただくことといたします。

先ほど事務局から説明がありました祝辞の示し方についてですが、この祝辞の意味合いをきちんと伝えたいというところがあります。ただ、卒業式はコロナ禍の状況で時間短縮を図らなければならない制約もあります。その辺りの折り合いをつけて、各学校ごとに卒業生の人数も異なりますので、それぞれの学校が実態に応じて祝辞の示し方を判断する形をとることとなりましたので、ご理解いただければと思います。

以上で、この報告を受けたことといたします。

次に日程第4を議題とします。

(日程第4 冬季休業期間明けの幼児・児童・生徒の欠席状況について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 自宅待機の主な理由が新型コロナウイルス感染症対策のためと記載されていますが、自宅待機には新型コロナウイルス感染症対策以外の理由もあるのでしょうか。

○説明員 受験を理由として欠席している子どもが小学校では3割、中学校では1割おります。

○教育長 その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第5を議題とします。

(日程第5 令和2年度文部科学大臣優秀教職員表彰について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 第八中学校がこのような素晴らしい成果を上げられ、嬉しく思います。

このことを多くの区民に伝えるため、速やかに公表していただきたいです。

○説明員 こちらにつきましては、次号の「きょういく広報」に掲載する予定でございます。「きょういく広報」を通して地域、区民等にも発

信していきたいと考えてございます。

○教育長

その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に、日程第6から日程第8までの3件につきましては、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大防止対応に関する報告で、関連していますので、一括して議題とします。なお、質疑も一括して行うことといたします。

(日程第6 区立学校における新型コロナウイルス感染者の発生について (報告事項))

(日程第7 区立幼児教育施設における新型コロナウイルス感染者の発生について (報告事項))

(日程第8 区立教育施設における新型コロナウイルス感染者の発生について (報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長

これら3件についてご質問等はございませんか。

特にないようですのでこれら3件の報告を受けました。

次に日程第9を議題とします。

(日程第9 教育委員会名義の使用承認状況について (報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長

この件についてご質問等はございませんか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第10を議題とします。

(日程第10 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について (報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長

この件についてご質問等はございませんか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

○教育長

その他なにかございますか。

以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時59分閉会)